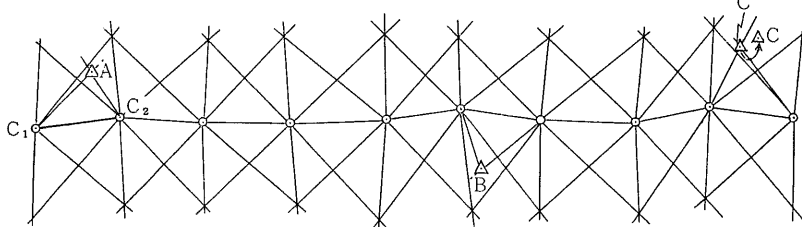


第126図  $\triangle P$  および  $\triangle Q$  地上基準点の展開位置  $P'$  および  $Q'$  が最初の2枚の写真の平均縮尺で編成された地上基準点の位置



第127図 射線法によって編成された基準点網と地上基準点との関係  $C_1, C_2$  は最初の2枚の写真の主点であってこれによって基準点網内の基線が決定される  $A, B, C$  は地上基準点であって基準点網は  $A$  から  $B$  まで正しく編成されている しかし  $B$  から  $C$  までの間は正しく編成されていない すなわち  $C$  に一致すべき点が  $C'$  とずれているので再調整する必要がある

ンプレートを少しづつずらして引き延ばしたり 縮めたり 撓めたりして調整する。あまりにもくいちがいが大きい場合には ばらしてもう一度組み立てなおさなければならぬ。この場合 各写真の主点間隔をつめたり 引きのばしたりして 全体の誤差を各重複部に配分するようにする。

6. 同様に次のコースのテンプレートの組み立てを行なう。両方のコース間の共通の点でくいちがいが出れば再調整を行なう。こうして全コースのテンプレートの組み立てを行なう。
7. 全コースのテンプレートの組み立てと調整が終わったならば 各写真基準点その他に二次基準点をベースシート上に 刺針し各点の記号を同時に記入する。

(筆者は地質部)



若狭湾 国定公園

### 地学と 切手②

#### 堀内 恵彦

福井県西部の若狭地方から京都府北東部の東丹後地方にわたる日本海岸で 本州がもっとも細くくびれた部分が若狭湾です。この地は 瀬戸内海や琵琶湖盆地と同時にできた断層地帯の一部分であって 古生層からなっている丹波高原の北部が敦賀湾の越前岬付近の断層海岸と与謝半島東側の断層海岸の間が 海に向かって同心円状あるいは放射線状の多くの複雑な断層によって モザイク状地塊となり陥没したため 出入りの多い地形となり しかも地質の差があるため海食の程度が異なり 断崖 洞窟 岩礁などの連なった特色のある景観ができたわけです。出入りのおもなものをあげると 東から敦賀 常神 内外海 大島 内浦 大浦 栗田等の半島 敦賀 久々子 田島 小浜 高浜 内浦 舞鶴 栗田 宮津等の湾があり また御神

島 蒼島 冠島 毛島 赤礁 沖の石など多くの島礁をかかえています。

この湾岸の大部分である敦賀半島から与謝半島東南岸までの延長87kmにわたる間が リアス式海岸の代表として国定公園に指定されたものです。区域内には日本三景の1つとして有名な 天橋立 若狭富士あるいは円後富士の別名ある 青葉山 古生層の直立海食崖で260mにおよぶ音海 断崖 花崗岩の海食崖として雄大な景観の 蘇外門 陥没湖水群の 三方五湖 オオミズナギドリ 繁殖地である 冠島 暖地性植物の自生地 蒼島 ビワ ツバキの自生地 大島 半島などの風景のほか さらにこの地域はわが国唯一のコウノトリの生息地でもあります。また「山嶽夫」伝説地の由良川川口 小倉百人一首に「わが袖は 潮干に見えぬ沖の石の…」とうたわれた沖の石などに加えて 古くから日本海交通の中心として大陸との交渉の要地でもあるなど 歴史的にも興味ある土地柄からです。1月25日から発売される切手の図案は 高浜海岸から眺めた青葉山(若狭富士)の景観で 公園指定は昭和30年6月1日 その後の追加指定をも含めて総面積は約203,616km<sup>2</sup>です。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)